

1 都心の空間の持続的成長・強化のための取組

都心まちづくりを具体的に推進する上での力点となるまちづくりの戦略とその展開プログラムを定めるとともに、長期的な視点に立ち、都心に起こる様々なまちづくりの機運が都心の構造の具現化に資する取組になるように適切に誘導することが重要です。

そこで、都心の構造となる骨格軸、展開軸、交流拠点並びにターゲットエリアといった主要な要素についてあるべき姿を指針として定めるとともに、その具現化に必要とされる取組の方向性を骨子として定めるものとします。

これら骨格構造及びターゲットエリアの取組を相互に連携して進めることで、都心全体としての回遊性の向上や、にぎわい、活力を象徴する機能・空間の誘導等を図り都心の空間の持続的成長・強化に繋げていくことが重要です。

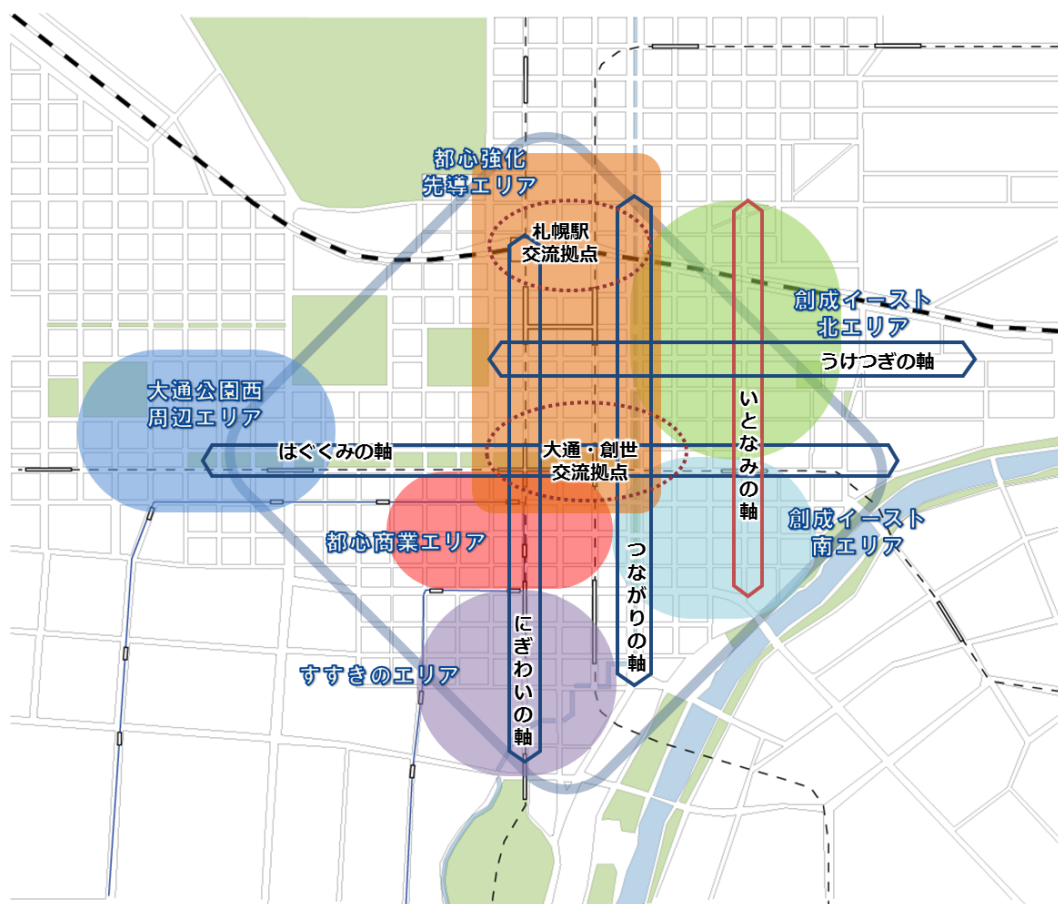


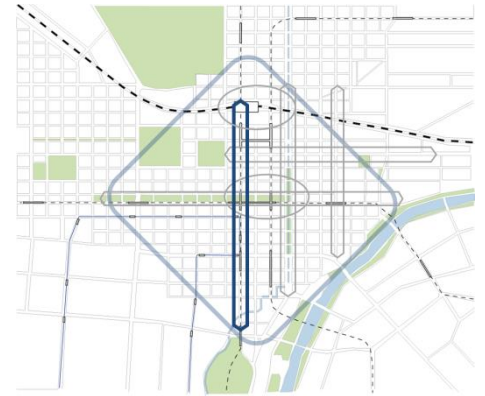
図 都心の骨格構造とターゲットエリア

2 骨格軸形成・強化の指針

2.1 駅前通 ～にぎわいの軸～

現状と課題

- 札幌駅前通地下歩行空間の整備と地上部歩行空間拡充による歩行者の増加
- 都市再生特別地区（北3西4、北2西4、南2西3南西地区）における開発を通じた、官民連携による空間創造の展開
- すずきの⇄大通間の開通による路面電車ループ化
- 沿道建物の老朽化に伴う建替え動向の顕在化
- 空間形成の連鎖を支える地区特性に応じたビジョンづくりの必要性



展開指針

都心のにぎわい・活力を象徴する沿道の機能・空間の再編と、都心強化と連動する軸双方向の起点からの高質化

- ◎周辺のエリア特性を活かし、都心のにぎわいと活力を象徴する機能・空間を誘導
- ◎歩行者・公共交通を基軸とした回遊の中心軸にふさわしい機能の強化
- ◎札幌駅から中島公園まで、都心南北を貫く軸を活かすため、軸双方向からの既存資源・都市的資産の機能・空間の高質化

取組の骨子

象徴的な軸空間の形成

- 札幌の玄関口からつながる目抜き通りとして、北海道・札幌らしいみどりの景観と活力・にぎわいを感じることができる沿道の街並みを備えた軸空間の形成
- エリアマネジメント等と連携し、エリア特性に応じた低層部への機能誘導を促進し、地区個性を強化

多様なネットワークの形成

- 札幌駅からつながる地上地下の歩行者空間を中心に沿道ビルとの接続を促進し、四季を通じて快適に移動できる重層的な回遊ネットワークを強化
- 既存インフラを活用し、沿道ビルの開発・更新に併せ、札幌の低炭素型市街地の具現化に資する都心部エネルギーネットワークを展開

軸双方向からの資源・資産の高質化によるにぎわいの軸の強化

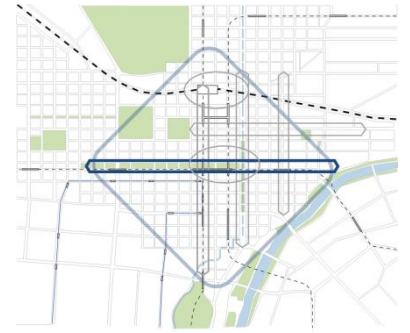
- 札幌の玄関口となる札幌駅交流拠点の広域交流拠点としての高質化
- 札幌開拓のレガシーであり、都心南のゲートとなる中島公園北部の既存資源を活かした札幌都心らしいにぎわいと豊かな環境を体感できる都市観光・交流の場の強化

※レガシー；過去の遺産

2.2 大通 ～はぐくみの軸～

現状と課題

- 札幌の開拓期からの都市形成を支えたレガシーとしての大通公園の存在
- 大通交流拠点地下広場の整備に伴う駅前通との結節点における公共空間の拡充
- 大通公園の年間を通じた、イベント等札幌の経済振興・交流の場としての活用
- レガシーにふさわしい大通公園の次の姿、並びに沿道を含めた軸としてのビジョンづくりの必要性



展開指針

札幌のまちを形成する根幹となる歴史を備える東西軸として、潤いあるみどりを中心に、札幌の都市文化・新たな価値をはぐくむ空間の創出

- ◎沿道の特性に応じたみどりの空間と活用空間のメリハリのある空間の創出
- ◎沿道空間と一体となった中核的なパブリックスペースとしての大通の実現
- ◎都心東西のエリアをつなぐ、札幌の都市文化、価値を体感できる空間の創出
- ◎創成川以西の賑わいを創成東へ波及させるための連続性のある空間形成

骨格軸の強化

- 大通公園を中心に南北の両街区とのパブリックスペースや回遊空間、みどりの連続性を生み出すことによる、レガシーにふさわしい象徴性の強化
- 大通公園及びその沿道周辺を札幌を象徴するレガシーとして、次の時代につなげていくための検討
- 大通公園を中心とする「はぐくみの軸」形成に関わるビジョンの検討と、それを踏まえた地区計画・景観計画重点区域の検討

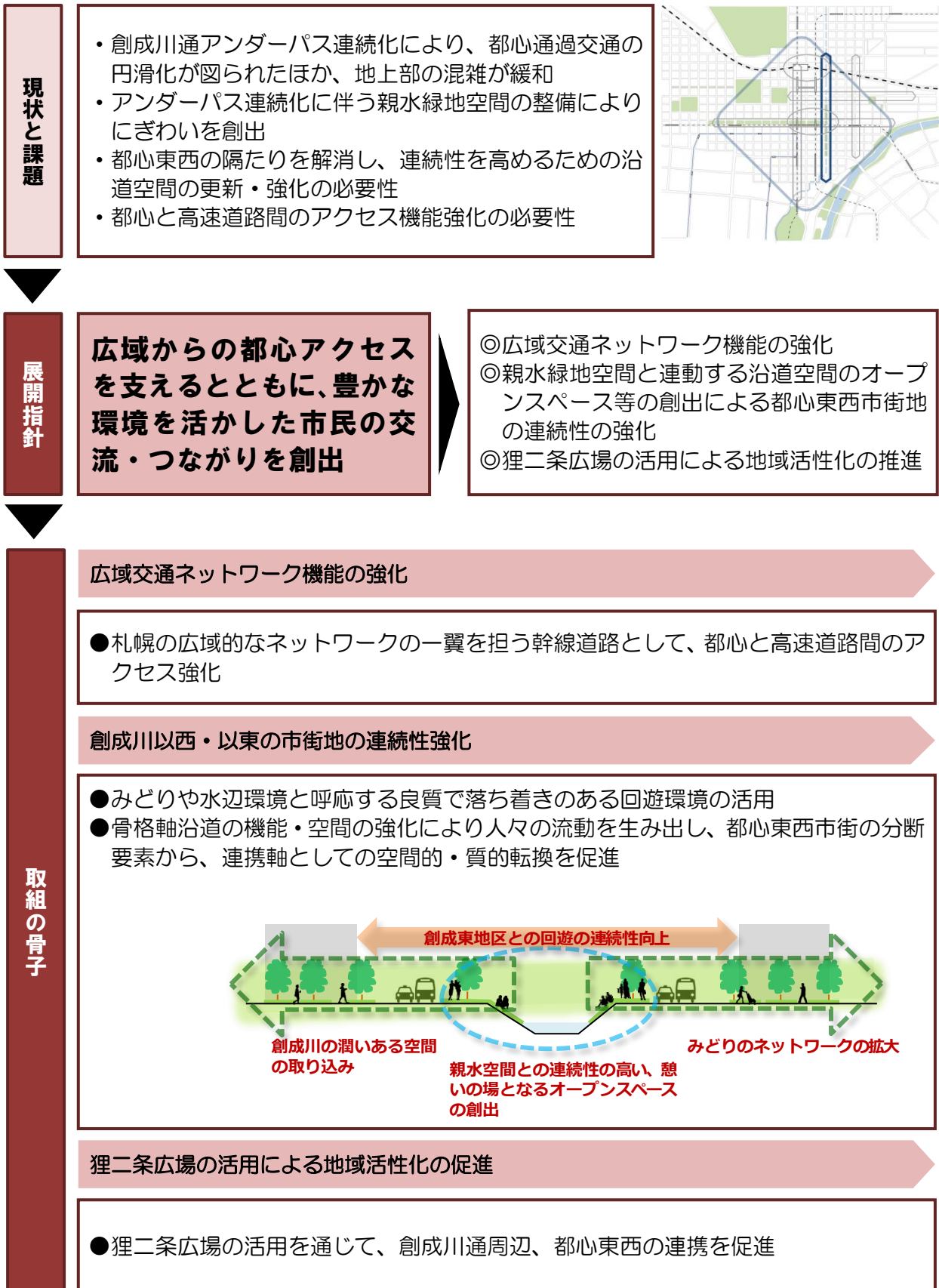
取組の骨子



都心東西市街地の連携強化

- 西11丁目周辺エリアと創成東地区を結び、駅前通と交差する東西軸として、各エリアに固有の歴史・文化・集客資源等への人々の流動を生み出す回遊性の高い移動空間を強化
- 土地利用更新等を通じたみどりの強化、回遊空間の強化に伴い、創成川以西・以東の連続性を向上

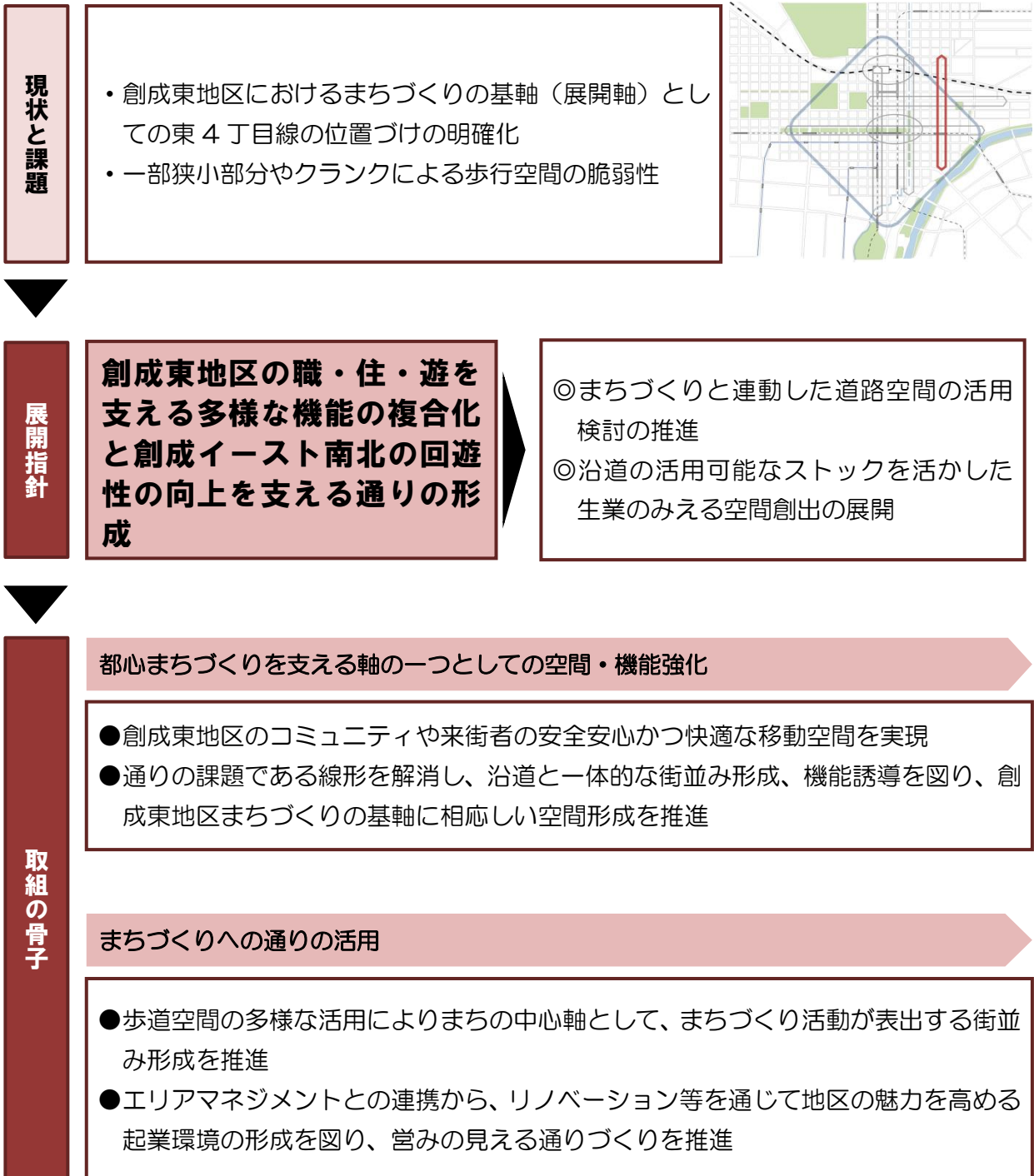
2.3 創成川通 ～つながりの軸～



2.4 北3条通 ～うけつぎの軸～

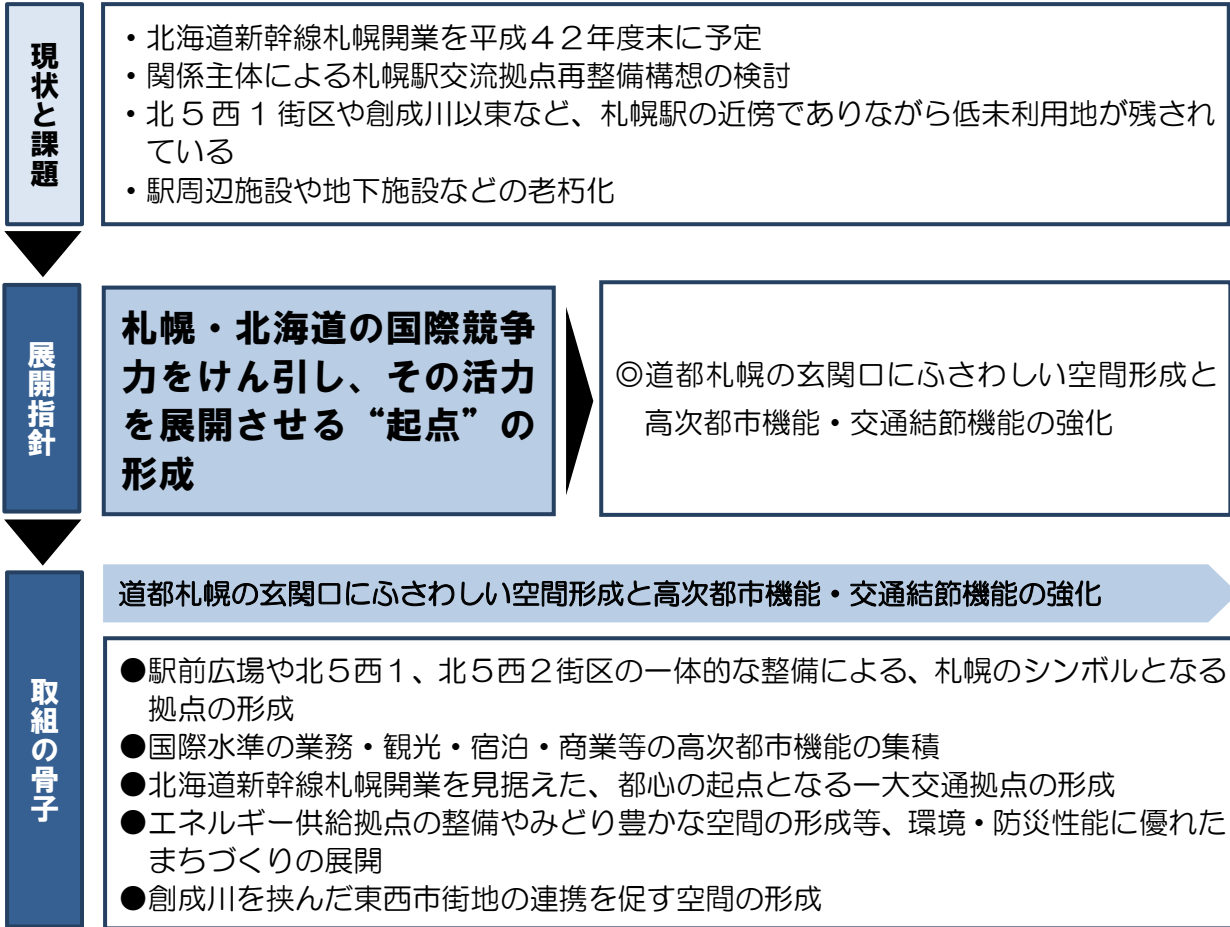


2.5 東4丁目線 ～いとなみの軸～



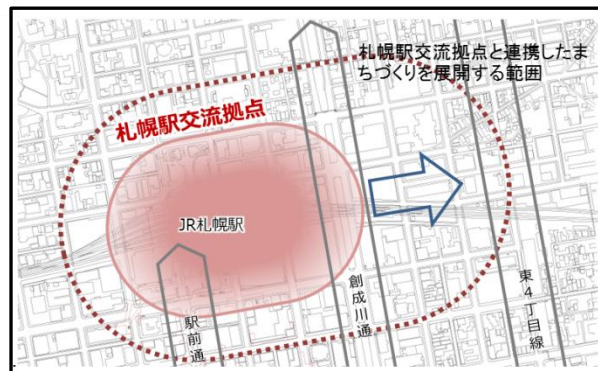
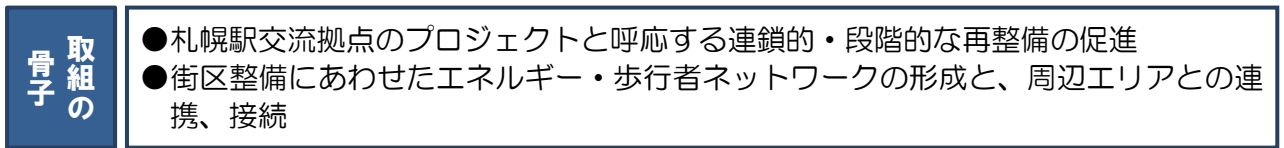
3 交流拠点形成・強化の指針

3.1 札幌駅交流拠点

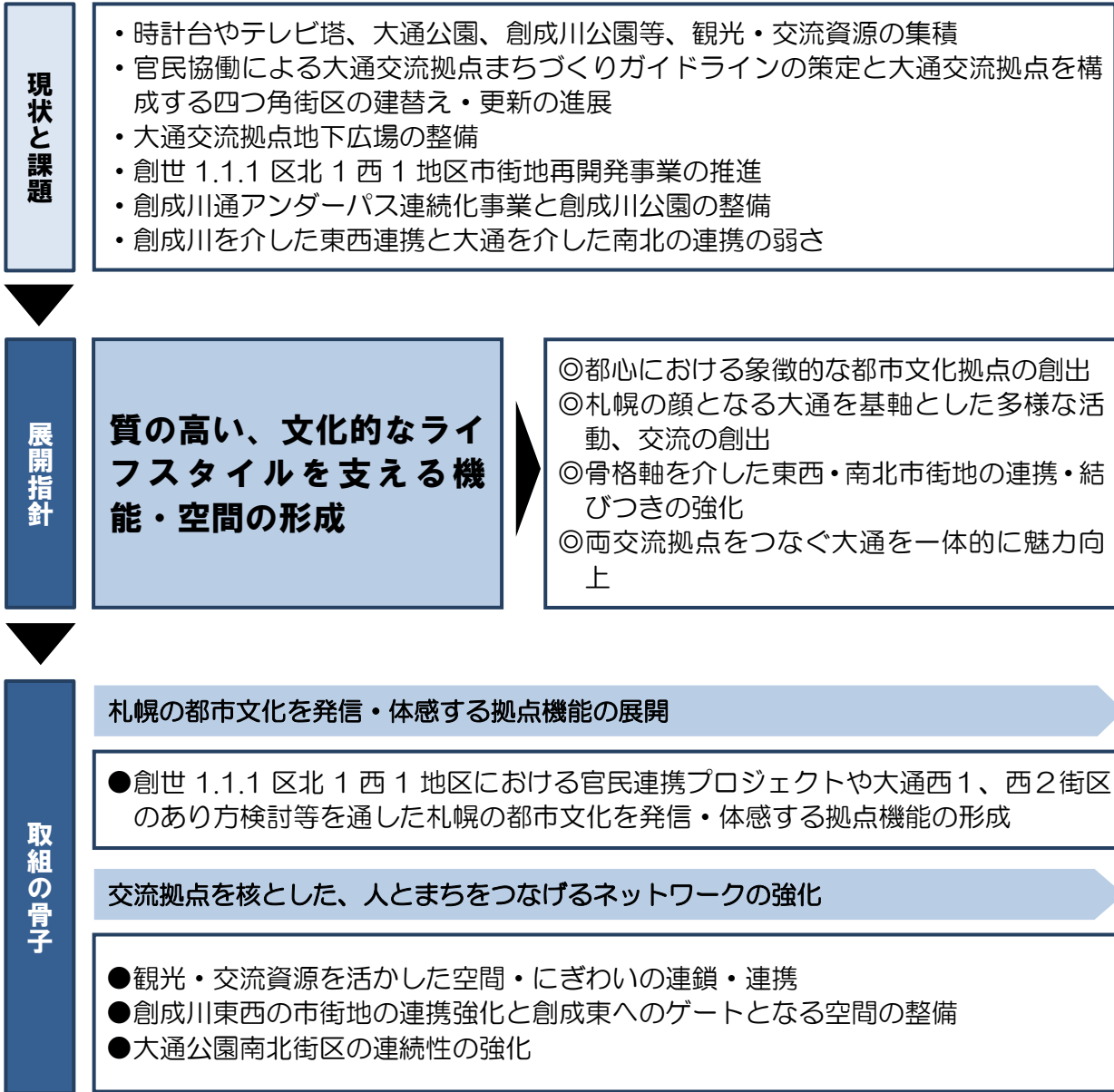


3.1.1 札幌駅交流拠点と連携したまちづくりを展開する範囲

～札幌駅周辺の活力を都心東部へ波及させる、まちづくりの連鎖的展開～



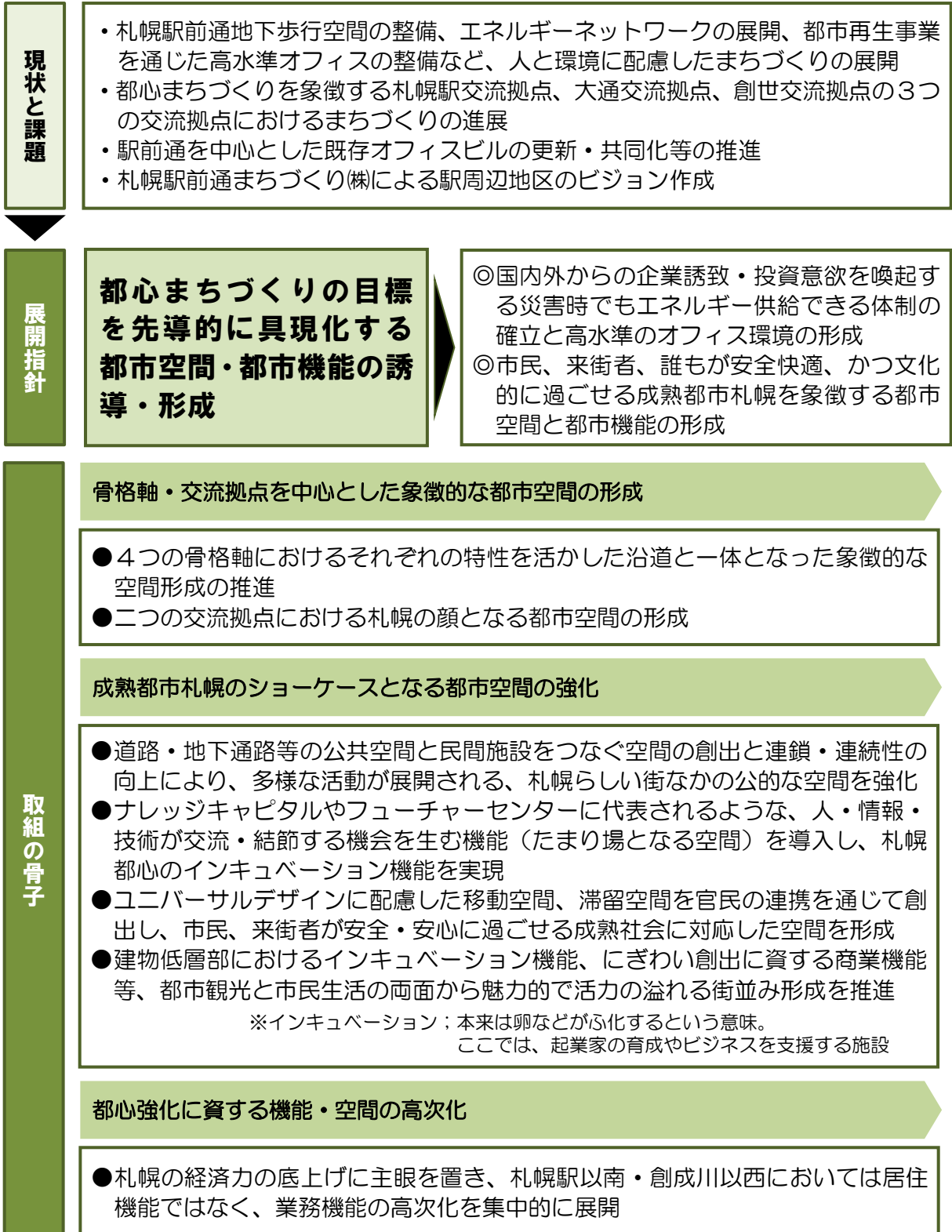
3.2 大通・創世交流拠点

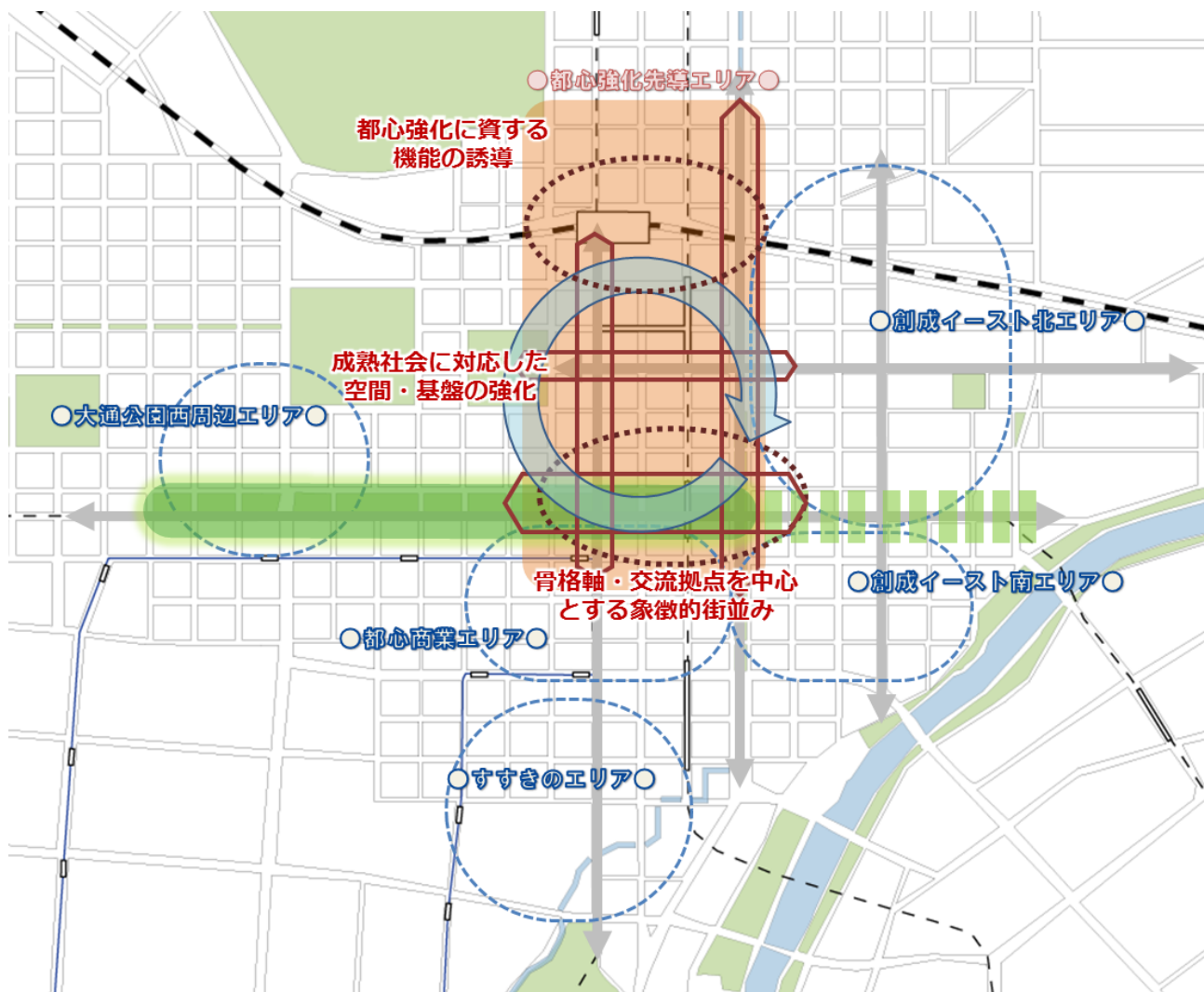


4 エリア特性に応じたまちづくりを進めるための取組

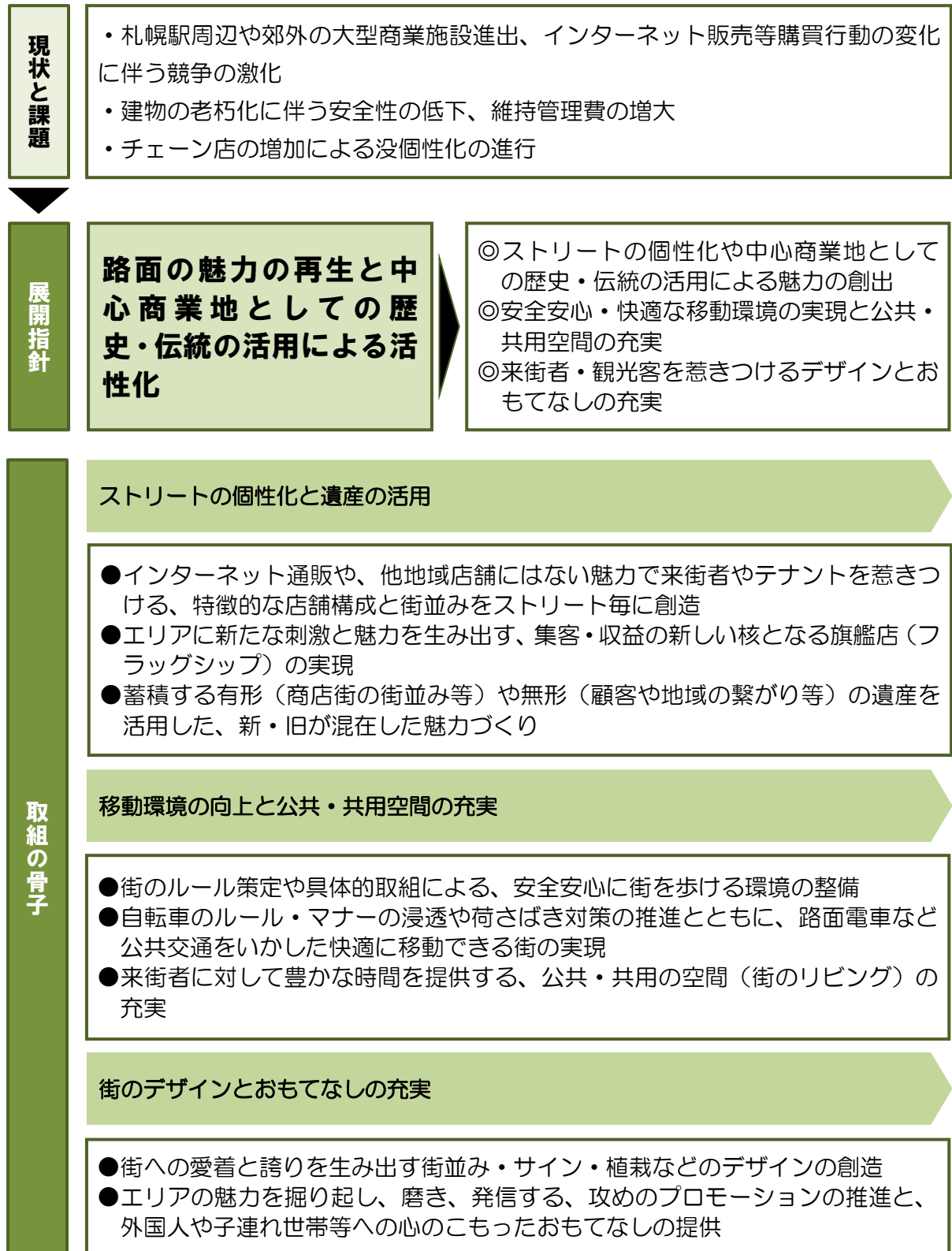
～都心の多様性を育てるターゲットエリアのまちづくりの促進～

4.1 都心強化先導エリア





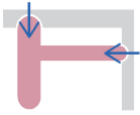
4.2 都心商業エリア



●地域と共に進める空間づくりの力点

力点1

エリアの一等地で世界を魅了し、街の将来をかける

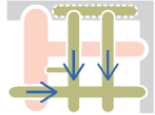


エリアの顔
『Tゾーン』



力点2

『Tゾーン』から人の流れを引き込み、エリアの回遊性を高める



個性で挑む
『ストリート』

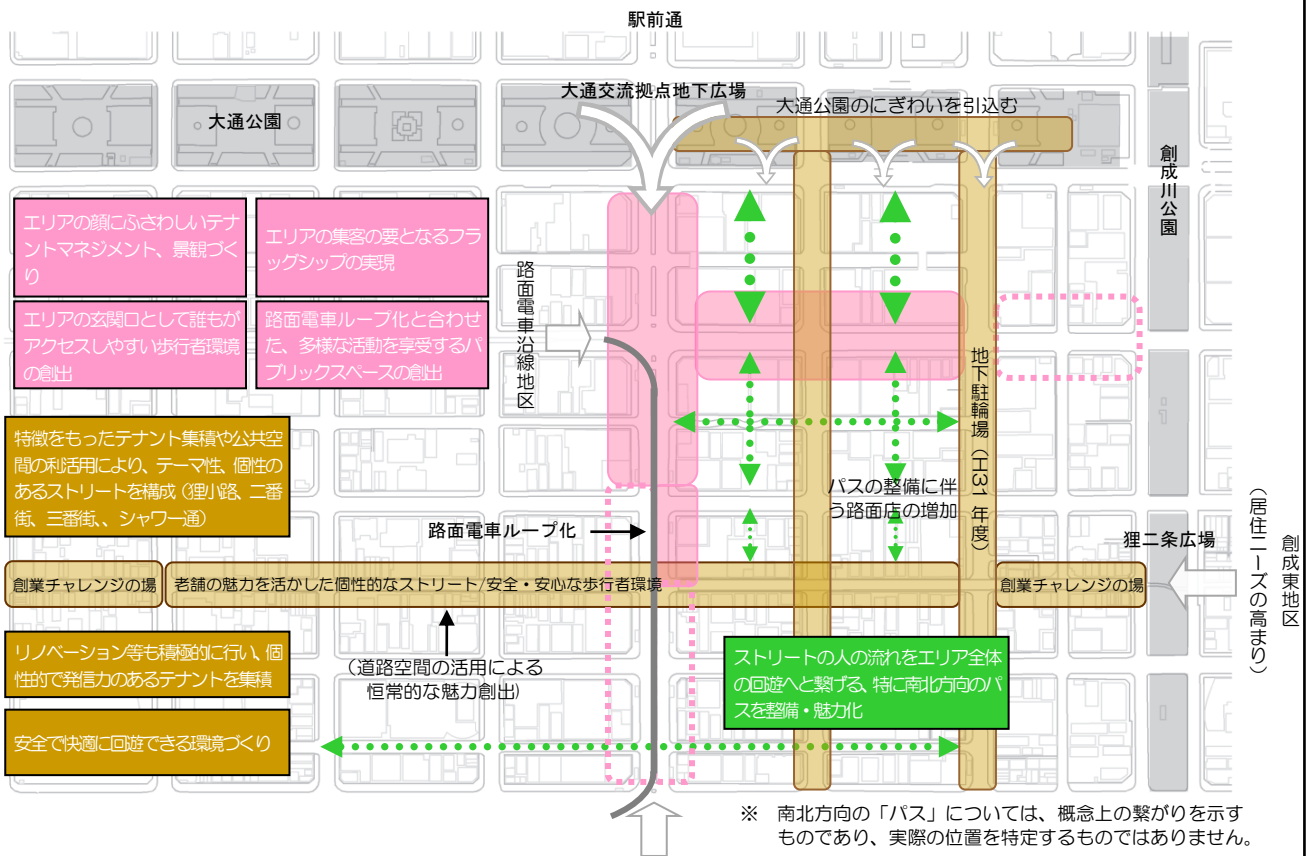


力点3

界わい性のある歩行者空間で、人々を街区の奥まで誘い込む



街の奥へと誘う
『パス』



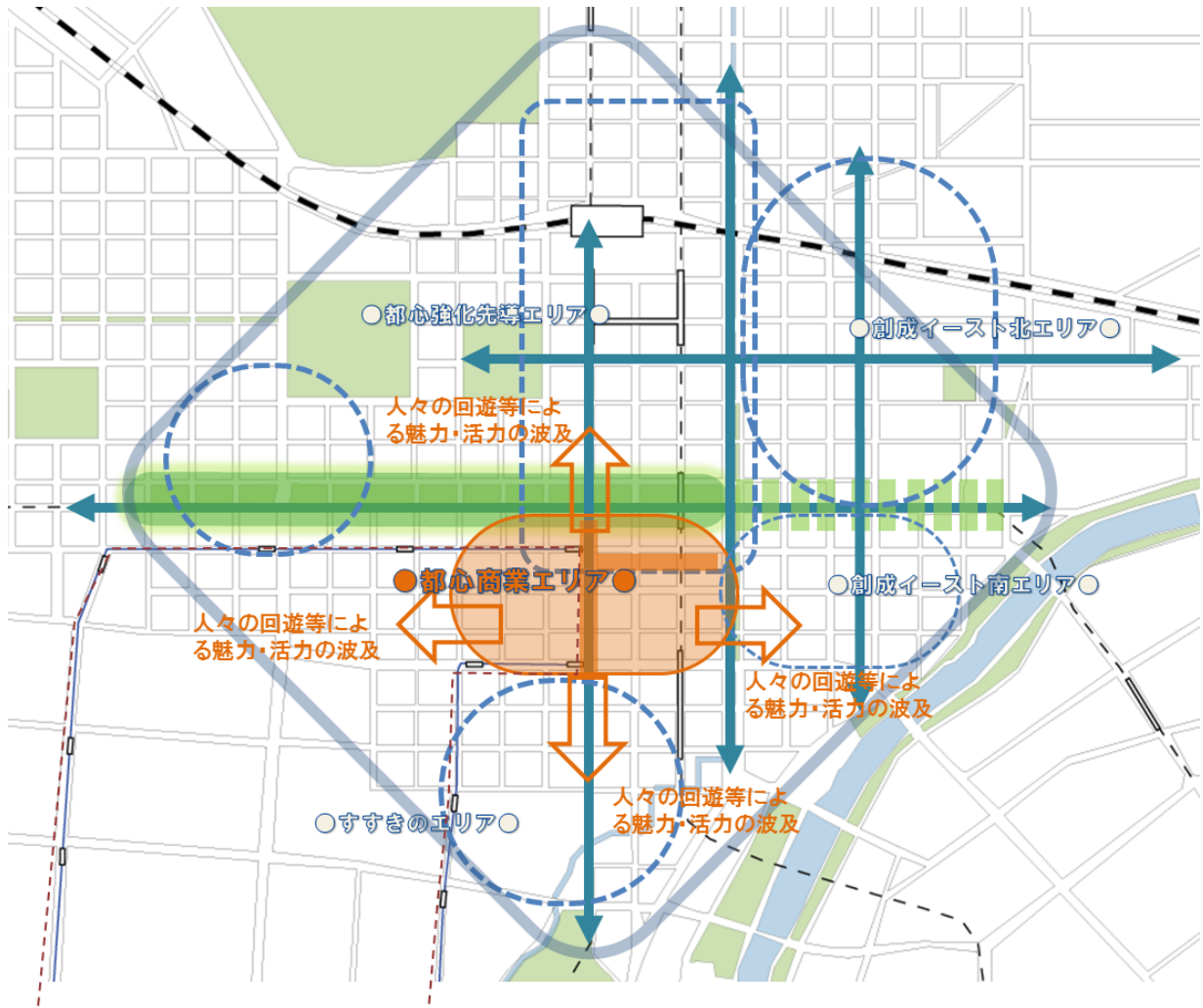


図 都心商業エリアにおける取組の他エリアへの波及

4.3 すすきのエリア

現状と課題

- 長引く景気の低迷により飲食店が減少
- 第9次都市再生プロジェクトのモデル地区への指定
- 「(通称)ススキノ条例」の施行などを受けた、地元団体、関係行政機関などで構成される「クリーン薄野活性化連絡協議会(H17)」の設置
- 鴨々川ノスタルジア等、地区の関係主体から生まれたまちづくり活動の展開
- 札幌開拓のレガシーであり、市民の憩い・交流の場である中島公園に隣接

※第9次都市再生プロジェクト；資料2参照

※「(通称)ススキノ条例」；札幌市公衆に著しく迷惑をかける風俗営業等に係る勧誘行為等の防止に関する条例

展開指針

観光交流・市民生活を充実させる歓楽街づくりと中島公園をはじめとする周辺資源との連携

- ◎安全安心な歓楽街づくりの促進
- ◎周辺資源とのつながりを感じる回遊ネットワークの充実
- ◎中島公園をはじめとした近隣観光施設との連携強化

取組の骨子

すすきのエリアの方向性検討

- 既存組織を中心としたエリア全体の方向性の検討
- まちづくり推進のための組織づくりとアクションプランの検討

安心感と魅力の向上

- 公共空間の安全対策や環境浄化活動による安全で安心なまちづくりの推進
- 夜間観光の魅力を高めるための魅力的な空間についての検討

資源活用と周辺との連携・連鎖

- 鴨々川や寺院をはじめとする歴史的建物等、エリア内の個性的な空間形成を支える資源のまちづくりへの活用
- 近隣の中島公園との連続性の向上や、観光交流や市民交流を支える資源の活用と機能強化の検討
- Kitara 等、近隣の文化資源とのつながりを高め、施設利用者の地区への流入を促進
- 札幌駅や大通公園西周辺エリアと連携した、札幌ならではのアフターMICE 環境の強化

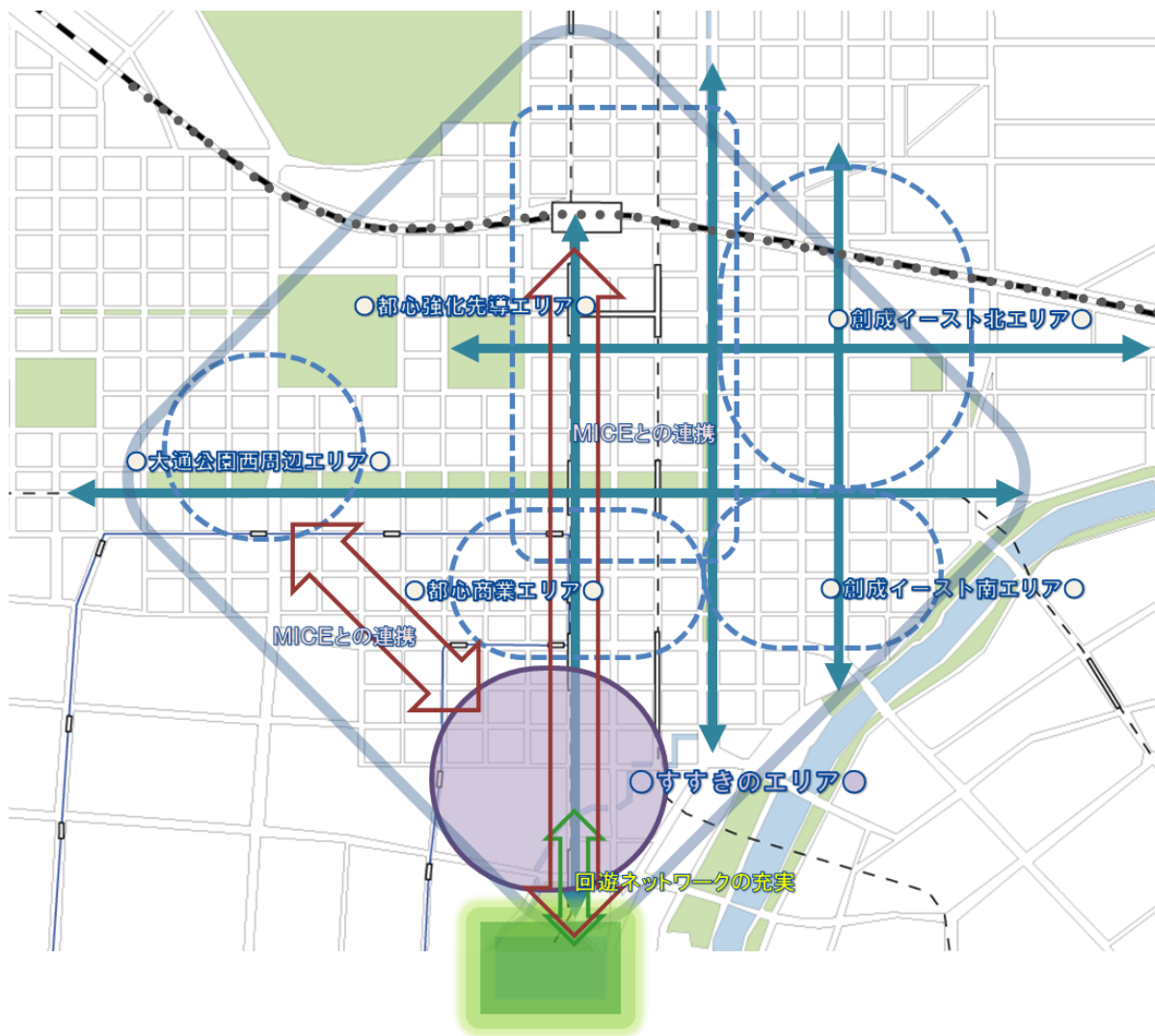
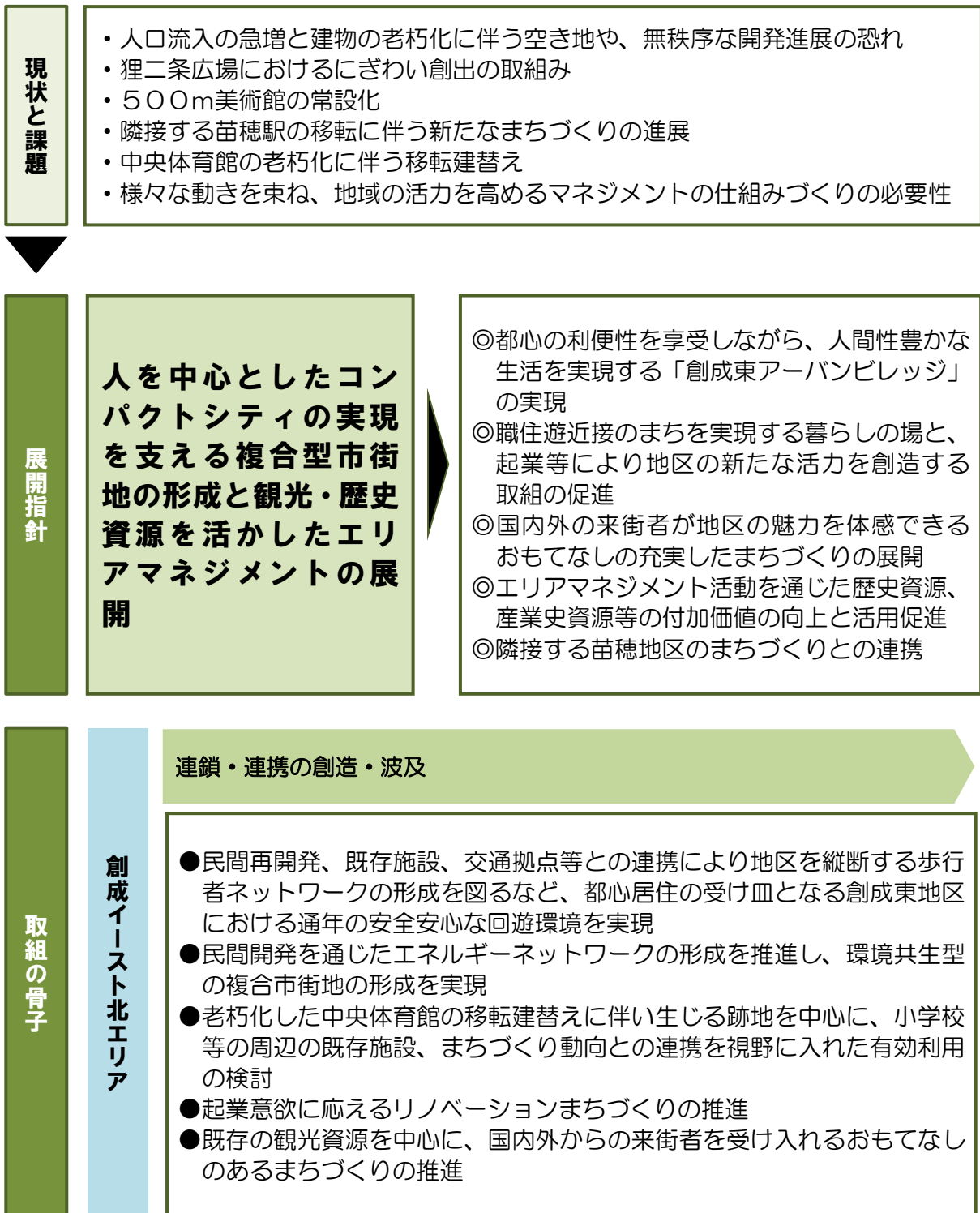


図 すすきのエリアにおける取組と他エリアとの連携

4.4 創成東地区（創成イースト北エリア、創成イースト南エリア）



資源活用を視点としたマネジメントの推進

- 二条市場、酒蔵工場等、創成東の重要な歴史資源との連携、地域住民との連携を図り、ものづくりの文化・暮らしの豊かさを実感できる活動を展開するなど、地区にある資源を最大限活用したエリアマネジメント活動を推進
- 既存の観光資源を中心に、国内外からの来街者を受け入れるおもてなしのあるまちづくりの推進

ストック活用の促進

- 500m美術館・狸二条広場などの公共的空間や神社などをまちづくりにおける活動空間・交流の場として活用し、地区のにぎわい・活力を創造
- リノベーション等による老朽ストックの暫定活用等、地区の既存の街並みを活かしつつ、創成東地区ならではの新たなチャレンジ・場づくりを推進

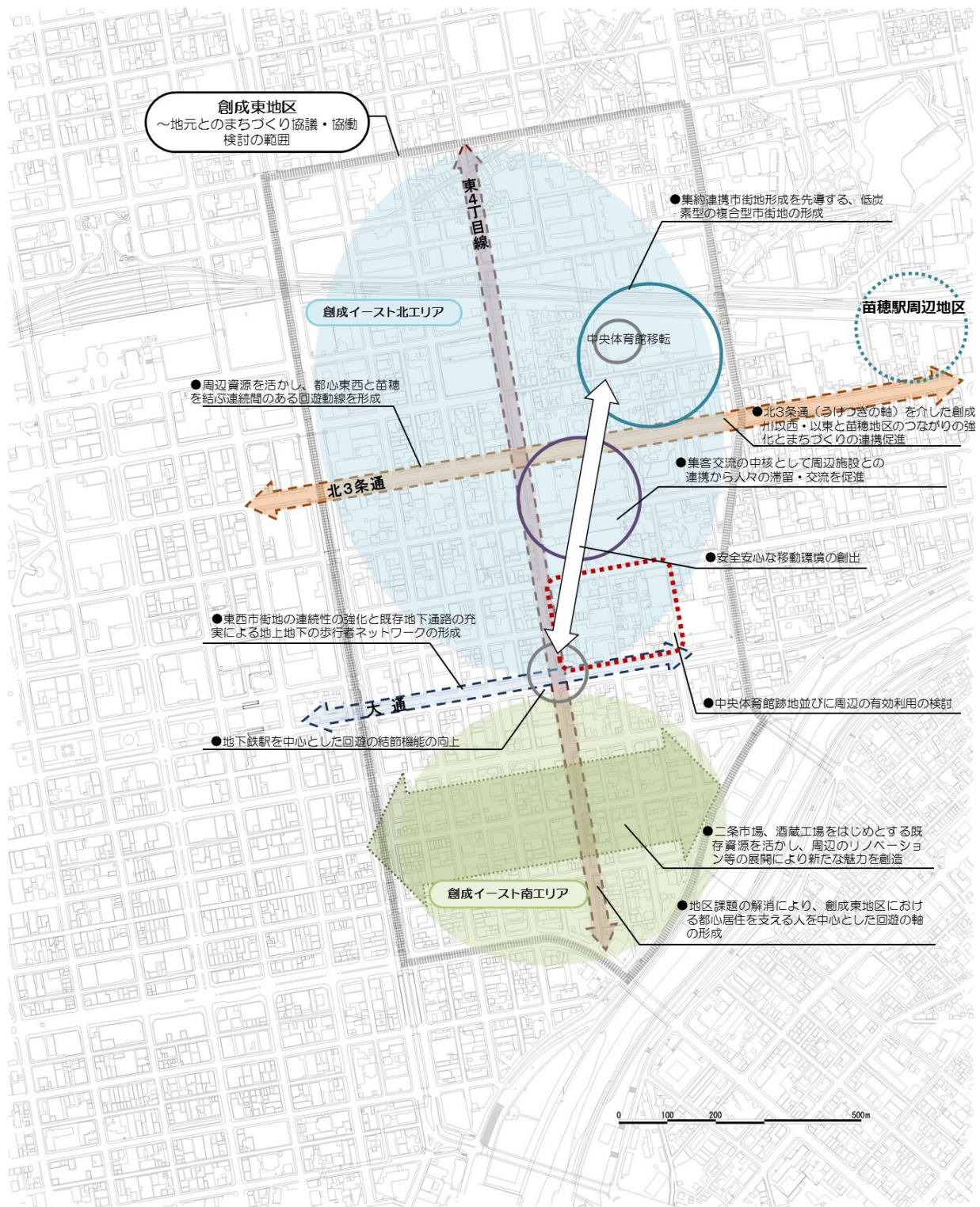
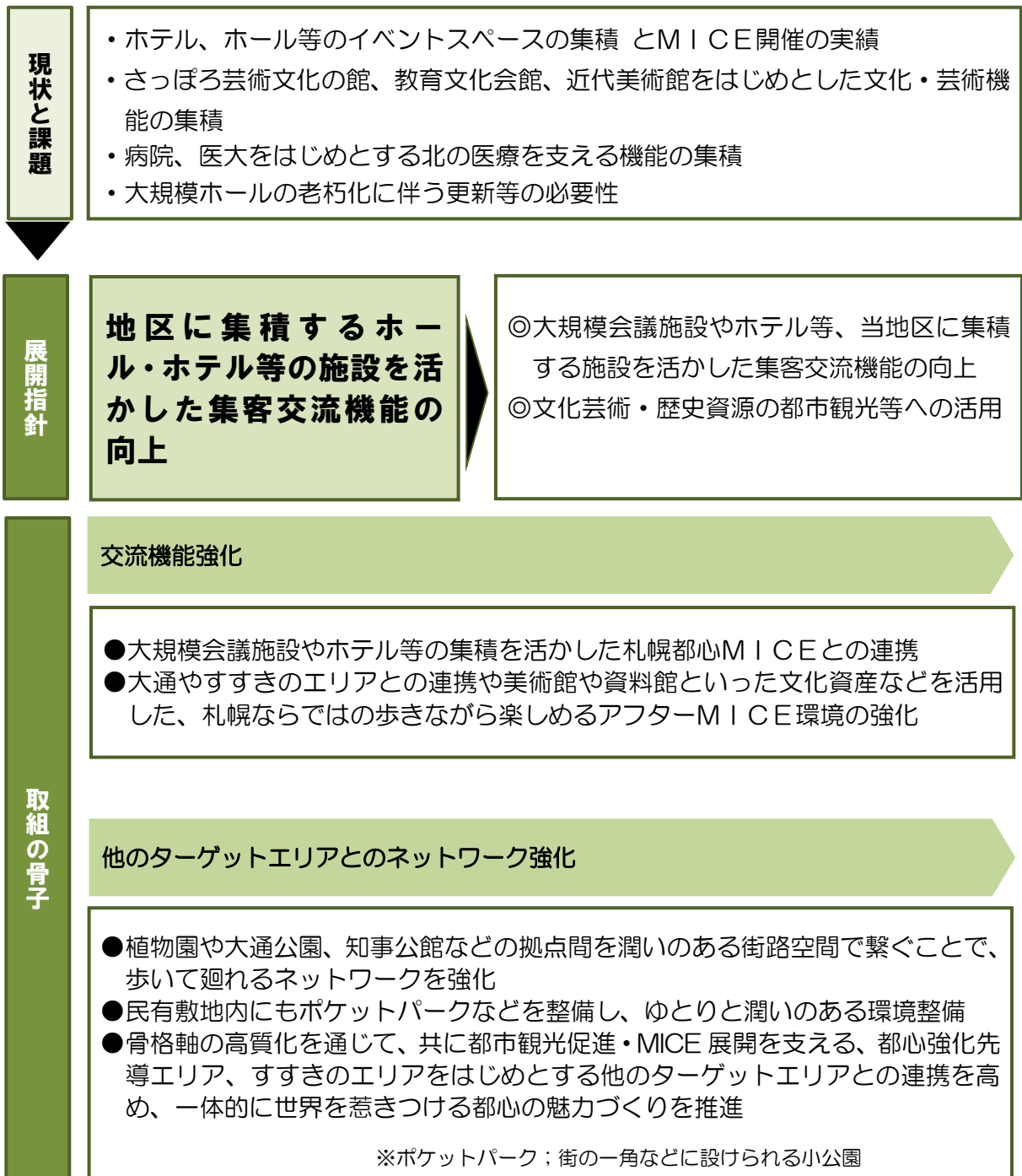


図 創成東北、南エリアにおける取組

4.5 大通公園西周辺エリア



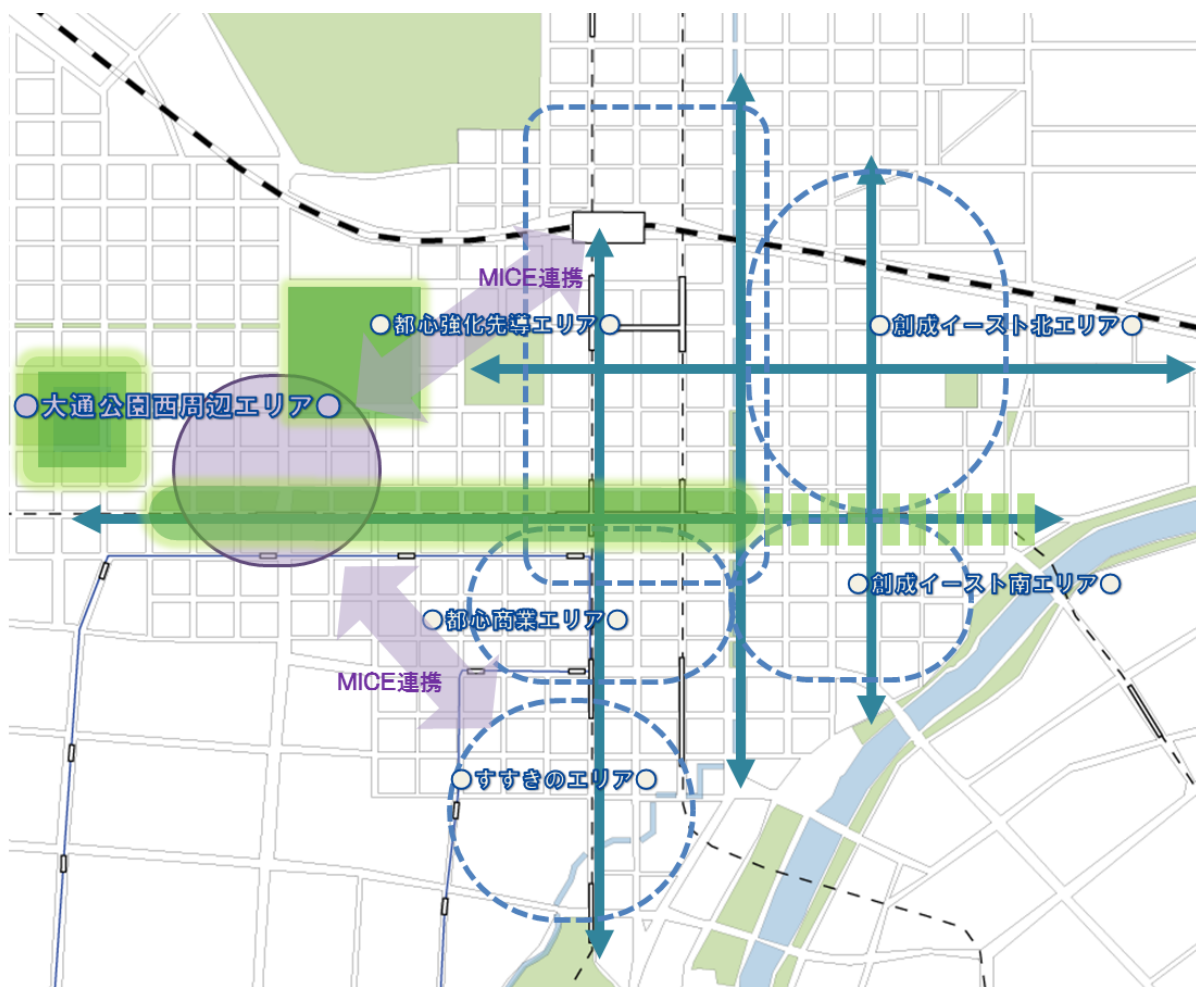


図 大通公園西周辺エリアと他エリアとの連携

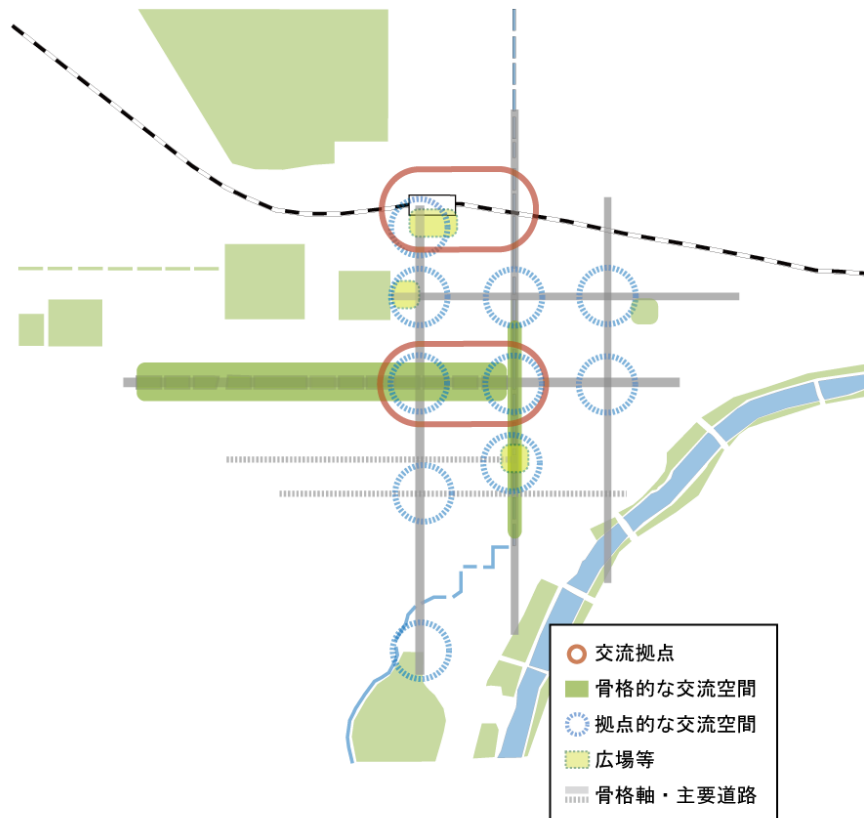
5 都心全域を視野に入れた空間形成指針

骨格軸や展開軸、交流拠点、ターゲットエリアからなる都心の市街地形成に係る骨格構造に加え、都心全域においてきめ細やかな空間形成を図ることにより、奥行きのある都心の空間が生まれます。さらに、こうした空間の連鎖によって市民や来街者等、多様な人々の活動の選択性と魅力が生まれ、都心の価値を高める上では重要となります。その具体的な展開に際しては、以下の3つの観点から空間形成の方向性を定めることとします。

視点① 交流空間の創出

主に、回遊の基軸となる骨格軸の結節点は、市民、来街者が都心における多様なアクティビティに触れ、都心のにぎわい・活力を体感できる豊かな空間を備えるべき場として重視し、これらを「拠点的な交流空間」として位置付けます。

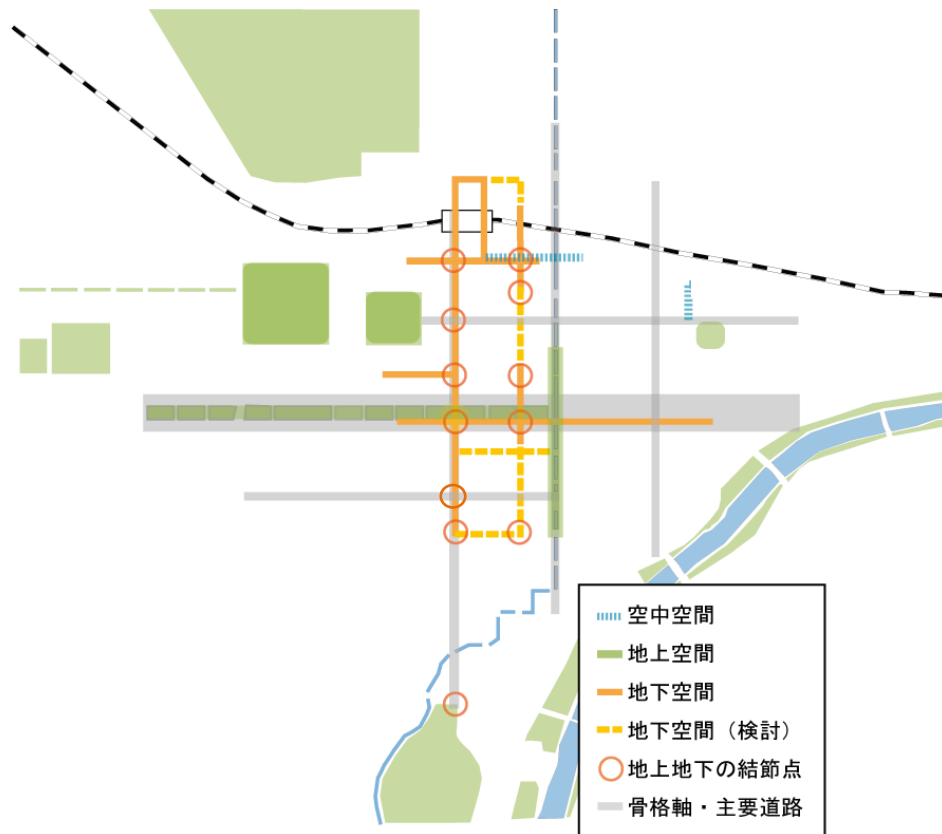
また、大通公園を始めとする象徴的なみどりの空間や、交流拠点における象徴性のあるパブリックスペースは、「骨格的な交流空間」としての役割を併せ持ち、骨格軸や拠点的な交流空間を介して連鎖・ネットワークし、新たな回遊、交流を創出・強化することを目指します。



視点② 地上・地下の重層的ネットワークの形成

積雪地札幌の四季を通じた市民や来街者の安全・快適な回遊を支える都心の重要な資産である地下空間ネットワークを活かし、沿道の民間ビルの建替え更新等を通じた接続により、地上部の回遊空間の充実を図りながら空間の選択性を高めます。これにより、都心における公共施設、民間施設の連鎖による重層的かつ多様な地上地下のネットワークを強化・拡充します。

さらに前述の交流空間の形成と併せて回遊の結節点における四季を問わない滞留・交流の場づくりを図りながら、重層的ネットワークとの連携性を高め、質の高い、札幌らしい公共空間の創出を図ります。



視点③ 界わい性と奥行きのある公共的空間の連鎖

建物内の貫通通路や建物と建物との間の通路など多様な歩行者動線を配置・活用して、パブリックスペースのきめ細かなネットワーク形成により、表通りだけでは無い奥行きのある都市空間の形成を促進します。その際、公共的機能を持つ施設や広場の空間への行きやすさの確保を重視します。

こうした取組により、表通りとしての骨格軸における象徴的な回遊動線とは異なる、界わい性を備え、まち歩きを通じた新たな都心の魅力を発見できる空間形成を図ります。

